

# 岐阜県大垣市農業委員会

## 【農業委員会の体制】(平成29年7月20日移行)

- 新体制:農業委員19人、農地利用最適化推進委員11人、事務局職員4人
- 旧体制:農業委員24人、事務局職員4人

### 1 地区の特徴・状況、課題

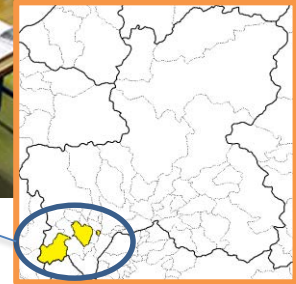
- 大垣地域・墨俣地域はほぼ平坦農地、上石津地域は中山間農地となっており、水稻等の土地利用型農業が中心となっている。合併により行政の農業に関する窓口は統一されているが、地域の窓口でもあるJAは、旧市町ごとに管轄が分かれており情報の収集や方針などが若干異なっている。

### 2 活動状況と今後の課題

- 2018年に市内20地区(JA支店単位)で既に策定されたプランごとに検討会を設置し、関係組織・団体の協力のもと、プランの見直しを進めている。今後は各地区での話し合いの単位を集落ごとに細分化し、各機関との連携を図りながら、さらに地域に入り込んだ議論を目指している。

### 3 人・農地プラン実質化に向けた活動(農地利用の最適化の推進の取組と工夫)

- プランがスタートした2014年頃は、市農林課が主導し、各地区プランを策定した。しかし見直す地区もあれば手付かずの地区もあるなど温度差があり、プランそのものの認知度も低かった。
- 2017年8月、**県農業会議が進める「新・ぎふ農業委員会活性化大作戦」**の目標の一つに、**プランを年1回以上見直すことが掲げられた**。大垣市農業委員会はこれを受けてプランを軸とした活動の強化を決め、**市農林課やJAも巻き込んで、市内20地区(JA支店単位)で既に策定されたプランごとに検討会の設置に至った**。
- 検討会のメンバーは、農業委員・推進委員、農事改良組合長、担い手など農業者が主体。ほぼ全ての地区で農業委員・推進委員が会長、副会長に就き、リーダーシップを発揮している。**事務局をJAの支店に置き、同委員会事務局や市農林課、JAが参加し、円滑な組織運営を支える**。
- 検討会の目的は、プランの見直しではなく、あくまでもプランを継続的に見直す素地をつくり、プランに基づき地域の持続可能な農業への取り組みにつなげる**ことである。**検討会規約には年1回以上の開催を明記している**。
- 2018年度は**各地区の農事改良組合に所属する耕作者や農地所有者を対象にアンケート**を行い、農業経営や農地利用の意向、地域農業の課題を把握した。そうした地域の状況把握に基づき地区検討会で協議し、全地区のプラン見直しを行った。市全体で足並みをそろえ、より地域の実情に合ったプランを練るために再スタートを切った。
- 2019年度は、新たに国が示す調査項目に基づき、耕作者の年齢、後継者の有無、各筆意向等を実施。また地域における円滑な話し合いを進めるため、全地区検討会の役員・事務局を集めた情報交換会を開催した。



大垣市

# 「人・農地プランの見直しについて」

## 大垣市農業委員会

### 「人・農地プラン」の見直し

#### 【地域の人と農地の現状】

- ・現在の大垣市は、平成18年に旧大垣市と上石津町、墨俣町と合併し誕生したが、いずれも隣接していないため、飛び地となっている。大垣地域、墨俣地域は、大部分が平地で、上石津地域は、中山間地域が多く占めている。
- ・農業は水稻等の土地利用型農業の経営体を中心となっており、他に小麦やブロッコリー、いちご、花卉、わさび等が栽培されている。
- ・農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足、害獣被害の問題などを抱えている。
- ・行政の農業に関する窓口は統一されているが、地域の農業の窓口でもある農協は、旧市町の区分けで管轄がわかれており、情報の周知や方針などが若干異なっている。

#### 取組開始前の状況

- ・20地域（市内の農協の各支店単位）で「人・農地プラン」策定済 ※市主体で作成
- ・策定当初から見直しを繰り返し実施している地域もあるが、策定以降見直しがされていない地域もあり、取り組みに格差が生じていた。
- ・「人・農地プラン」の内容など、地元農業者の認知度が低い状況であった。

#### 取組内容

- ・「人・農地プラン」検討会設立  
会長、副会長など会の中心人物として、農業委員や農地利用最適化推進委員、改良組合長など、地域の農業者が主体となって取組を行える組織作りを実施。
- ・「人・農地プラン」規約の策定  
検討会の構成員や年1回以上の検討会の開催など運用について規定した。
- ・アンケート調査の実施  
地域の耕作者（個人・法人）、農地所有者に対して、地元の改良組合の協力のアンケートの配布、回収、等を実施した。

#### 今後の展開と方向性

- ・人・農地プラン検討会の年間1回以上の開催、見直しの実施。
- ・アンケート調査結果の分析と課題への対策への検討。
- ・人・農地プラン検討用の地図の作成
- ・隣接の地域との「人・農地プラン」の意見交換、内容についての協議の実施。
- ・各ブロックごとでの「人・農地プラン」の作成
- ・持続可能な農業の将来像の具体化

## 取組前の状況と取組結果

地域名	取組前の状況				取組結果（実績）			
	当初策定年月日	見直し年月			検討会設立	アンケート調査	地図作成	人・農地プラン見直し
中部	H25. 3	H27. 3			H31. 2. 17	実施	-	H31. 2. 17
南杭瀬	H25. 3	H29. 1			H30. 12. 21	実施	-	H31. 2. 15
多芸島	H25. 3				H30. 9. 13	実施	-	H31. 3. 11
安井	H25. 3				H30. 9. 18	実施	-	H31. 3. 7
宇留生	H25. 3	H27. 3	H27. 9		H30. 10. 30	実施	-	H31. 2. 19
静里	H25. 3	H25. 9	H27. 3		H30. 11. 26	-	実施	H31. 1. 10
綾里	H25. 3	H27. 3			H30. 10. 3	実施	-	H31. 1. 28
洲本	H25. 3				H30. 6. 21	実施	実施	H31. 3. 8
浅草	H25. 3	H27. 3			H30. 6. 15	実施	-	H31. 3. 1
川並	H27. 3				H30. 6. 15	実施	実施	H31. 2. 6
中川	H25. 3	H27. 3			H30. 12. 11	実施	-	H30. 12. 11
和合	H25. 3	H27. 3				実施	-	H31. 2. 22
三城	H24. 10				H30. 6. 28	実施	-	H30. 12. 14
荒崎	H25. 3	H26. 3	H27. 3		H30. 9. 13	実施	-	H31. 1. 17
赤坂	H25. 3	H27. 3			H30. 9. 13	実施	-	H31. 2. 15
青墓	H25. 3	H27. 3			H30. 9. 27	実施	-	H31. 2. 28
牧田一之瀬	H26. 3	H26. 12	H28. 2	H29. 3	H30. 6. 25	実施	-	H31. 2. 12
多良	H26. 3	H28. 2	H29. 2		H30. 7. 24	実施	-	H31. 1. 29
時	H25. 9	H28. 2	H29. 2		H30. 7. 13	実施	-	H31. 2. 15
墨俣	H25. 3	H27. 1			H30. 8. 28	実施	-	H31. 2. 4

## 人・農地プラン検討会

### 検討会の状況

